

町内探検隊



今月の舞台

みかわあんじょうちよう 三河安城町・三河安城本町
みかわあんじょうがしまち 三河安城東町・三河安城南町



平成18年に区画整理によりできた、市内で一番新しいまち三河安城町・三河安城本町・三河安城東町・三河安城南町を探検します。

◆玄関口にある噴水

JR三河安城駅の北口に降り立ってみると、噴水の前で、迎える



収穫の塔をバックにパチリ

車を待つ家族に出会いました。「あの噴水、おもしろい形してますよね」と声を掛けられました。この噴水は「収穫の塔」といい、赤松町にあるJAあいち中央のカントリーエレベーターをデザイン化したものです。夜はライトアップもされ、夜景スポットにお勧めですよ。

◆大雨からまちを守る

住宅街を歩いていくと、二本木



二本木調整池

公民館の西にサッカー場ぐらいの大きさの池らしきものを発見。これは「二本木調整池」です。大雨が降った時に、雨水をこの池に流し、水を貯めます。市街地へ雨水が流れ込むのを防いでいるそうです。

◆のぞみ公園

公園にも新幹線が出現。まちの人の憩いの場所となっています。やはり新幹線ゆかりのまちだなと実感させられました。



のぞみ公園

元気っ子アルバム

倉橋ゆいなちゃん(6歳・左)

みなみちゃん(6歳)

竜成くん(5カ月)



私たちにかわいい弟ができた。泣いた時は、すぐにかけつけ、お世話してあげるんだ。これからも仲良しでいようね。

お父さん：直幸さん
お母さん：里美さん (里町)

杉浦鈴ちゃん(10カ月)



歩くのが大好きです。まだ両手を引いてもらって歩いているけど、早く1人で歩けるようになりたいです。

お父さん：秀人さん
お母さん：敦子さん (古井町)

三矢師園くん(5歳)

晟準くん(3歳)

能央ちゃん(1歳)



2人のにいには毎日戦いごっこをしていて、とても楽しそう♪早く仲間に入りたいと戦闘準備はバッチリな「のあ」です。

お父さん：大輔さん
お母さん：雅子さん (赤松町)

「わたしの望遠郷」・「ほっとタイ夢」コーナーでは、市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。掲載者には記念品を差し上げます。

わたしの望遠郷→以前に住んでいたふるさとの思い出を紹介 ほっとタイ夢→夢や、ほっとする話を紹介

わたしの望遠郷



かま 福岡県嘉麻市(旧山田市)



私が生まれ育ったまちは、福岡県のほぼ中央に位置した山田市です。JR博多駅から車で40分のところにあります。平成18年に1市3町が合併し、現在は嘉麻市となりました。

昔は炭鉱で栄えており、掘った土が積まれたボタ山がたくさんあったのを覚えています。炭鉱で働く人も大勢住んでいま



ボタ山 提供：嘉麻市



炭鉱で働く人 提供：嘉麻市

したが、徐々に人口が減り、合併前には、日本で1・2を争うほど人口の少ない市でした。

山田市は自然が豊かで、川にフナ・オイカワ・ハヤなどを捕りに行ったり、林へクワガタやカブトムシを捕まえに行ったりしました。

食べ物については、どこの家もワラビやゼンマイなどを山へ採りに行き、食べていました。こちらでもよく見かけるめんたいこは、福岡産のおいしさが格別。今でもよく取り寄せて、食

卓の一品となっています。

意外に思われるかもしれませんが、寒暖の差があり、雪がよく降ります。さらに、台風もよくきます。いつものことと慌てることもなく、子どもの頃は、学校が休校になると、うれしかったのを覚えています。

現在も年末年始に帰省しますが、雪が降ることが多く、家族で雪だるまを作って楽しんでいきます。

吉村勝彦さん(新田町)



雪景色 提供：嘉麻市

ほっとタイ夢

夢は子どもたちへ日本の話芸を伝えること

菱田修平さん(安城北中学校1年)

◆始めたきっかけは

小学4年生の冬、母が僕に「何か得意なことができないか」と、落語の教室を勧めてきたのがきっかけです。当時、家族では誰も落語に興味がなく、僕も最初は落語とはどんなものかも分からないまま参加しました。でも、習い始めるとすぐにのめり込み、夢中になりました。現在は、安祥公民館で「子ども落語教室」に参加し、腕を磨いています。

◆落語の魅力は

みんなの笑う顔を見ることができるところです。聞いている人が、笑ったり、怖がったり、同情してくれたり、自分の思い通りの反応があると、「やっ

た!」と思います。

落語は、いろんなところで披露しています。姉の学校のPTAの人たち、町内会の敬老会、さらに病院へ慰問にも行きました。少しの時間でも、自分の落語で、楽しい時間を過ごしてもらえたら、うれしいです。

◆将来の夢は

今は、落語に興味のない人に、落語の楽しさを伝えること。これからいろんな所へ行って、落語を広めたいです。幼い子の面倒を見るのが好きなので、将来は、保育士になりたいです。保育士になったら、落語を子どもたちに話して、親し

みを持ってもらいたい。そして、子どもたちへ日本の話芸を伝えていきたいです。



敬老会で落語を披露